

大阪府市都市魅力戦略推進会議 第1回観光WG議事概要

1 開催日時

平成25年2月18日(月) 14:30~16:00

2 場所

大阪市公館

3 出席者

橋爪委員、嘉名委員

大阪商工会議所 吉田地域振興部長、関西経済同友会 松尾事務局次長兼企画調査部長、

関西経済連合会 佐野地域連携部次長

加納国雄氏(観光局長就任予定者)

4 議事概要

1) 大阪観光局について

【資料1、2及び参考資料について事務局より説明】

(大商・吉田地域振興部長)

- ・ 運営推進協議会は各団体のトップで構成するということであるが、実際どのように進めていくのか？

(中村国際交流・観光課長)

- ・ 運営推進協議会は各団体のトップでと考えている。観光局の大きな方向性(観光局長の交代など)など重要案件について議論いただく。協議会の下に幹事会を構成し、機動的な運営を図りたい。

(嘉名委員)

- ・ 資料2副指標の項目で大阪観光局による独自の指標を取っていることは大阪観光局の独自性を示す上で非常に重要だと思う。調査には費用もかかり大変だろうが是非ともやってほしい。
- ・ 関西全域での取組みも重要で、関西の中心として大阪の役割を意識し、大阪観光局という名前であるが、関西全域を発展させる意気込みでお願いしたい。

(橋爪委員)

- ・ 観光局自らが調査するデータを評価指標にするというのはどうか？

(中村国際交流・観光課長)

- ・ 消費額や満足度などについて、これまで府市では十分な調査ができていなかった。観光局がマーケティングのために必要なデータを収集し、それを評価にも利用したいと考えている。

(大商・吉田地域振興部長)

- ・ 650万人という目標数値は国の目標値から算出したものでありこれを下すわけにはいかないというのは理解できるが、もう少し地に足の付いた目標設定も必要ではないか？
- ・ 例えば、国内観光客も含めた、定点観測できるような消費額や満足度など。
- ・ 国際会議の開催件数だけでなく、インセンティブ旅行やイベント、見本市などを含めたMICEの目標設定が必要ではないか。

(中村国際交流・観光課長)

- ・ 指標については、いただいたご意見も踏まえ、評価委員会において議論したい。

(橋爪委員)

- ・ 2012年で212万人である来阪外国人旅行者数を2020年までに3倍にするというのはかなり高い目標であるが、高い目標に向けて事業展開をやっていくことが大事。目標が高いことは良い。
- ・ 観光局長と会長・理事長との役割分担について説明してほしい。

(中村国際交流・観光課長)

- ・ 観光局としての事業部門のトップが観光局長であり、局の権限、責任を担う。財団法人の組織運営については会長・理事長が担う。

【「大阪観光局事業計画案」について加納国雄氏より説明】

(大商・吉田地域振興部長)

- ・ 意識改革と外国人から見た視点と発想について具体的に教えていただきたい。

(加納氏)

- ・ インバウンドを増やすためには、観光施設や宿泊施設、商業施設など大阪が一丸となってウェルカム精神を持ってやっていきたい。そのためのキャッチコピーがASIAN GATEWAY OSAKA。“千客万来”では外国人に伝わりにくい。
- ・ 外国人から見た視点と発想は本当に外国人に聞かないと分からない。日本の会社は外国での調査によく日本の海外現地法人を使うが、それでは外国人のニーズを正確には探れない。

(同友会・松尾事務局次長)

- ・ 最初の1年間で勝負。関西広域連合や府域市町村との連携も必要。府市によりうまく調整いただき、WIN-WINの関係を築いてほしい。
- ・ 都市魅力創造戦略やグランドデザイン大阪との有機的な連携をお願いしたい。
- ・ FacebookなどSNSも活用されると思うが、英語だけでなく中国語、韓国語はもちろんのことタイ語等も含めた幅広い対応があれば非常に良い。

(関経連・佐野次長)

- ・ 観光局が成功することを非常に期待しており、関経連の会員にもPRしていきたい。
- ・ 京都、奈良、神戸などは非常に近いが、それぞれの観光案内所では自分のところのパンフレットしか置いていないので、もっと連携を図ってほしい。

(加納氏)

- ・ 府外の情報について取り扱うことは非常に重要だと考えている。大阪から京都や奈良、神戸などに日帰りで行けることもアピールしていきたい。

(大下都市魅力創造局長)

- ・ 国際音楽フェスティバルなどのイベントについて、これまでの経験から、インバウンドの集客をどれだけ見込めるのか不安な面もある。例えば雨天の場合は入場者が減るが、そうしたリスクヘッジについても今後相談したい。

(橋爪委員)

- ・ 観光局には期待している。先ほども話があったが、関西全域が大阪であるという気持ちで高い目標に向けて頑張っていたきたい。